

太陽光発電を利用した水素・メタン生産

宮崎県では、快晴日数が全国第2位、日照時間と平均気温が全国第3位とトップクラスであることから「日本のひなた」というキャッチフレーズが付いている。まさに太陽光に恵まれた環境ということで、宮崎大学工学部では、特色ある研究の一環として、太陽光発電の研究開発拠点を目指すことを目的としている。ここでは、文科省機能強化促進費による「社会の変革を変える宮崎大学型太陽熱・太陽光高度活用技術の開発～日本のひなた「宮崎」で低炭素社会・水素社会の新システムを創出する～」の研究プロジェクトの一環を紹介したい。・・・